

道しるべの会

才能教育研究会 スズキ・メソッド 東海地区三科連絡協議会
スズキ・メソッド 東海オフィス
〒465-0093 名古屋市名東区一社1-89 寿山ビル4階
TEL&FAX: 052-753-9878
開所時間: 平日 10時~13時
e-mail: suzukimethod_tohkai@yahoo.co.jp

『茶話会 ~卒業~』

日時: 2018年2月12日 (月・祝)
10時~11時30分
場所: スズキ・メソッド東海オフィス



♪2月12日に東海オフィスで行われた「道しるべの会」のご報告です。

今回の道しるべの会は茶話会形式で行われました。テーマは「卒業」。
「ずっと来たかったです！」とお子様連れのうれしいご参加もあり、沢山のお菓子を囲みながら、おしゃべりの花がたくさん咲きました。
さまざまな話題と指導者・先輩おかあさんからのアドバイスは下記のとおりです。

「卒業といえば、課題曲の練習がタイヘンですよね・・・」

・卒業曲は1000回練習を！と言われ、シール作戦や手作りの表で乗り切っておかあさん、中には1曲練習しては一針縫い、一つの卒業曲で一つの刺繍作品を完成された素敵なおかあさんも！

・1000回というと途方もないけれど、100回ずつで録音をしておく、上達を子どもと一緒に確認でき、あとからのいい記念にもなりますよ。確かにタイヘンですが、ふり返ると、あどけない子どもの声*と一緒に残る演奏録音は親子の一生の宝物！

*卒業録音時、生徒は演奏の前にクラス名/名前/年齢/曲名を自分の声で録音します。

「卒業曲はどうやって決まったのでしょうか？」

・鈴木先生が熟慮され、教本にちりばめられた卒業曲。壁のように親子の前に立ちはだかる難曲も、繰り返し練習して乗り越えると、不思議とその後の曲はスラスラ。自然に階段を上っていきますよね。

・卒業曲ではないけれど、「キラキラ星」も大事な要素がギュッと凝縮されています。ヴァイオリンで言えば、あの6つのリズムパターンにしっかり取り組んでおくとその後のレッスンはとてもスムーズ。

「なかなか集中できず、姿勢は悪くなり、練習時間も短いのですが・・・」

・短くても大丈夫！特に小さいうちは短くても回数を増やした方が効果的。おかあさんが沢山注文をつけて練習嫌いにさせてしまうよりいいかも(笑)。ただ、弾かない分、よく聴く環境を作ってあげるの大事。聴けば聴くほど曲の習得は早くなります。

・「聴く」といえば、読譜のタイミングに悩むおかあさんも多いですが、読むことに一生懸命になりすぎて、聴くことで育つ力をおろそかにはしたくないですね。

・姿勢の悪さは目線の先に子どもの好きなものを飾る、或いは、ヴァイオリンの上に飴を置き、飴を落とさずよい姿勢で弾けたら食べていいよ、などの練習方法の工夫をするといいですよ。

「卒業制度は世界のスズキ・メソッドでも同じですか？」

・親子の意欲作りや日々の目標設定として大事な卒業制度。この形式は日本独特で、世界のスズキでもあたりまえではありません。もちろん導入の進む地域もありますが、例えば、アメリカでは卒業制度に代わり、レベル別のグループレッスンやアンサンブルの機会が子どもたちの意欲作りの一助になっています。

「こどもが『できない！できない！』という時はどうしたらいいのでしょうか？」

・親が思いもよらないことを子どもが心配していることがある、とは先輩おかあさんの談。えっ？そんなこと？ということがこどもの心にひっかり練習できないことが……。子どもの言う事をゆったりとよく聞いてあげることが突破口になったりしますよ！

「前の曲を練習して・・・と言われるものの、なかなか・・・」

・3巻まで(5巻までという声も?!)は繰り返し前の曲を弾くとその後の伸びが断然違う！早く練習ができるように教本CDの曲間の時間を詰めて録音し直す敏腕おかあさんも?! 毎日全曲でなくても、宝くじカード(本部での販売もあり)を利用したり、自家製の宝くじカードをお子さんと一緒に作ったりするのもよいですよ。

・なかなか思い通りにならなくて・・・という時、ある先生がおっしゃった「ちいさいうちに上手に弾けることは、単純に(練習)時間が比例するだけです」というお言葉に救われたという声も。スズキ・メソッドの先生方は、子どもひとりひとり、家庭ひとつひとつに異なるペースをみとめ、「どの子も育つ!(どの子もかわいい!)」と、どの子にも等しく熱く接していただきますよね。上手=生まれつきの才能じゃなく、焦らず、比べず、マイペースで!

時に「卒業」のテーマにとどまらず、話題が多岐に渡った今回の茶話会。外は連日の厳しい寒さですが、親子のほっこり体験談に心もぼかぼかの楽しい時間でした!

♪ スズキの卒業制度の歴史について紹介いたします。

本多 正明著「愛の人 鈴木鎮一先生」より抜粋

才能教育は各地で支部という形で発展していったが、大きな発展のためには法人格にする必要があるとの意見が各地から湧き上がり、昭和25年10月26日、社団法人*として文部省に登録された。
*現在は公益社団法人として登録されています

全国にどんどん支部ができて生徒の数も増えた。敗戦ですべてを失った人々は、今までは生まれ

つきであったと思いこんでいた才能が、環境によって育つことを知らされて大きな希望を持った。特にそのメロッドがバイオリンであったことが又大きな魅力であった。

人間は一つの階段を上がった時、節をつくる事により次の段階への励みが出てくる場合が多い。鈴木先生はこのために卒業制度をもうけた。初歩の段階でも、初等科の卒業免状を貰うことに親も子も努力のあとをふり返り、よくぞやったものと喜び、又次のステップに進む意欲をかきたてる。又いろいろの事情で教室をやめる場合、又は指導者をかわる場合もよい区切りとなることが考えられる。

第一回の卒業式は昭和28年10月25日、東京共立講堂で開催された。卒業生の総数は195名であった。その時行われた卒業演奏は見事で多くの人々に強い感銘を与えた。何事も第一回は準備が大変である。鈴木先生を中心として在京の理事者、指導者、支部長が一丸となって協力したことが成功のもとになっていた。

第二回の卒業式は翌年の10月28日、東京青山学院の講堂で行われ、卒業生の総数は363名であった。第二回はそれほどの苦労もなくすらすらと進んだ。

二回の卒業式を経験して鈴木先生はいろいろのことを考えた。一層のこと卒業式の日、参加できる子供が全部、卒業生をお祝いする会を開いてはと思われた。理事会にはかると勿論異議を唱える者はなく、その実行が決まった。そして期日も学校の卒業期に合わせて3月27日に挙行することが決定した。1500人位の生徒が参加することが予想されたので、会場は普通のホールでは演奏がむつかしく、結局都の体育館を借りた。

全国大会も初めてのことでいろいろ心をくばった。才能教育運動を世界に紹介する絶好の機会なので、PRの担当を作り、各部も漏れがないよう準備した。

大会当日は前夜の雨も上がって晴天ではあったが気温が低く寒かった。

徳川先生の御骨折で、皇太子殿下、秩父宮妃殿下、高松宮、同妃殿下の皇室の方々が多数出席され大変盛況であった。

この時取ったドッペル*の映画が三年後アメリカの望月氏のもとに送られた。

*ドッペル…バッハ作曲：二つのバイオリンのための協奏曲

.....

上記の**全国大会**はのちにグランドコンサートと呼ばれ、直近では2018年4月4日に東京両国国技館にて開催されます。

今までにたくさんの生徒たちがスズキの卒業制度を経て育ち、立派な社会人として羽ばたいています。このような歴史が脈々と続いて今のスズキにつながっていることを想像すると感慨深いものがあります。

♪次回もたくさんの方のお越しをお待ちしております♪

<道しるべの会 スタッフ>

伊藤 達哉 (指導者)、浅田 美幸 (西名古屋支部)、後藤 寿子 (東濃支部)、中村 和香子 (東名古屋支部)、伊藤 登美子 (西名古屋支部)、阿部 佐衣 (豊田支部)

次回の道しるべの会は 4月30日(月祝) 10:00~11:30です。

「楽譜・読譜」をテーマに、東濃支部の加藤寿子先生をお招きします。

読譜のきっかけや体験談、教本の曲はじめ楽譜についてのあれこれ、音楽のさらなる深みを味わう一歩を皆で共有してみませんか？きっと読譜が楽しくなるはず？

スズキを始めたばかりの方も上級生の生徒の方もみなさんふるってご参加ください。